

**10 月 15 日は「たすけあいの日」
「たすけあい」に関する意識調査を実施
6 割以上の人が「たすけあう」と回答！**

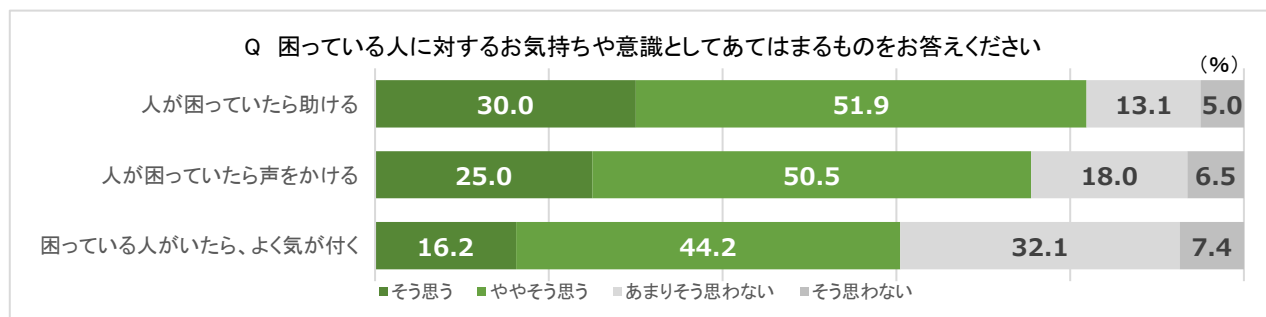
こくみん共済 coop 〈全労済〉(全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長：廣田 政巳) は、10 月 15 日の「たすけあいの日」に向けて、今年も「たすけあい」に関する意識調査を実施。その結果をお知らせいたします。

こくみん共済 coop は、たすけあいの仕組みである共済の推進を通じて、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」に取り組んでいます。本調査は、日本中にたすけあいを広げていく活動の一環として、たすけあいの実態把握を目的に、2020 年 1 月より実施しております。

■主な調査結果 ※年代別分析は、10 代は調査数少数に付き分析対象外としております。

- ・ これからの社会にたすけあいが必要だと思う人は 85.8%。
- ・ 「たすけあいがある社会」に共感できる人は 64.3%。
- ・ 社会がたすけあいにあふれていると思う人は 40.1%。
- ・ 人が困っていたら「声をかける」75.5%。「助ける」81.9%。
- ・ 一方、自分が困っている時、人に助けを求める人は 35.6%。

たすけあいの行動意識は、「人が困っていたら助ける」81.9%、「人が困っていたら声をかける」75.4%、「困っている人がいたらよく気が付く」60.5%。60 代、70 代は男女ともに 9 割前後が意識。



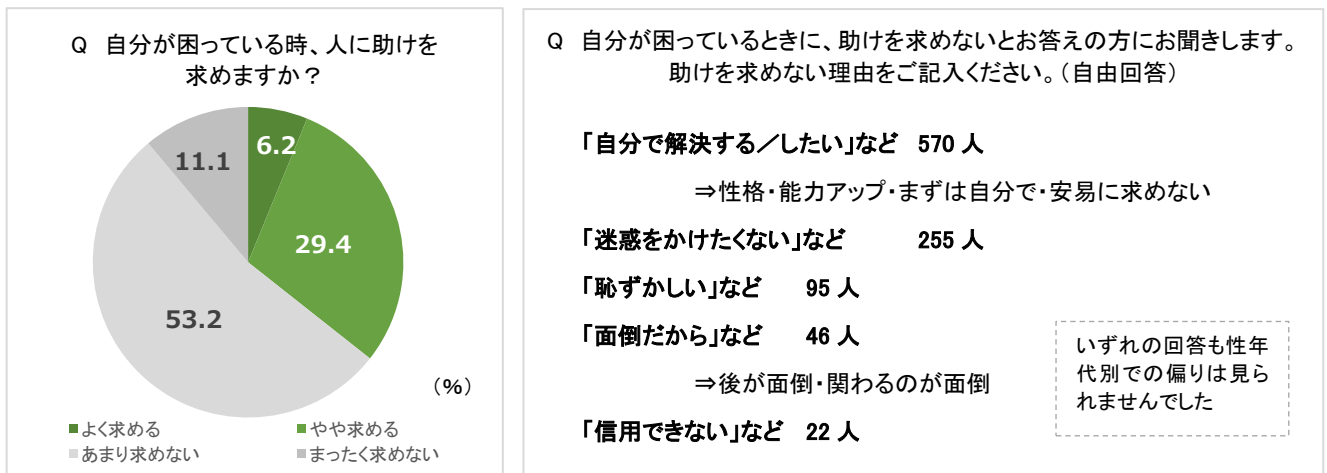
人が困っている時、8 割前後の人が声を掛けたり助けたりすると回答しました。「ややそう思う」まで含めた数値で見ると、男性より女性、また年代が高くなるほど回答率が高くなる傾向があることがうかがえます。

- 自分が困っている時、人に助けを求める人は 35.7%。
- 助けを求めない理由は「自分で解決したい」「迷惑をかけたくない」「恥ずかしい」「面倒」など。

自分が困っている時、人に助けを求めるかを聞いたところ、「よく求める」6.2%。「やや求める」まで含めても 35.6%で、6 割以上の人が困った時でも人に助けを求めないようです。性年代別で見ると、30 代以上は過半数が助けを求めない（あまり／まったく 計）と回答しており、特に男性はその傾向が高いようです。

「あまり求めない」「まったく求めない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「自分で解決したい」「迷惑をかけたくない」といった内容が多く、次いで「恥ずかしい」「面倒」「信用できない」などがみられました。

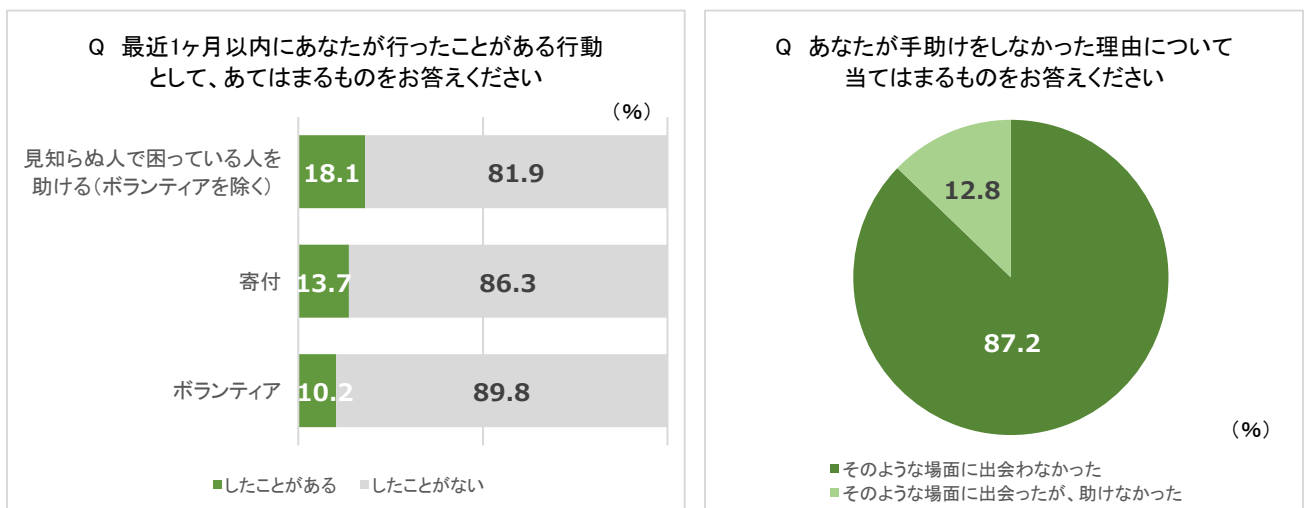
「自分で解決する」には、性格や性分、まずは自分で解決することで能力や経験を重ねたい、助けを求める＝安易といった心理的な背景があるようです。また「面倒だから」は、他人と関わることに對する面倒くささやその後のトラブルなどへの懸念などがみられました。



- 最近 1 か月以内に「見知らぬ人で困っている人を助ける」と回答した人は 18.1%。「寄付」は 13.7%、「ボランティア」は 10.2%
- 見知らぬ人で困っている人を助けたことがない理由は「そのような場面に出会わなかった」と回答した人は 87.2%

最近 1 ヶ月以内のたすけあいの行動について聞いたところ、「見知らぬ人で困っている人を助ける」は 18.1%、「寄付」は 13.7%、「ボランティア」は 10.2%。いずれも 1～2 割と低く、イギリスのチャリティー団体「Charities Aid Foundation(CAF)」発表の「World Giving Index 10th Edition」による日本のランキングの低さを反映した結果となっています。

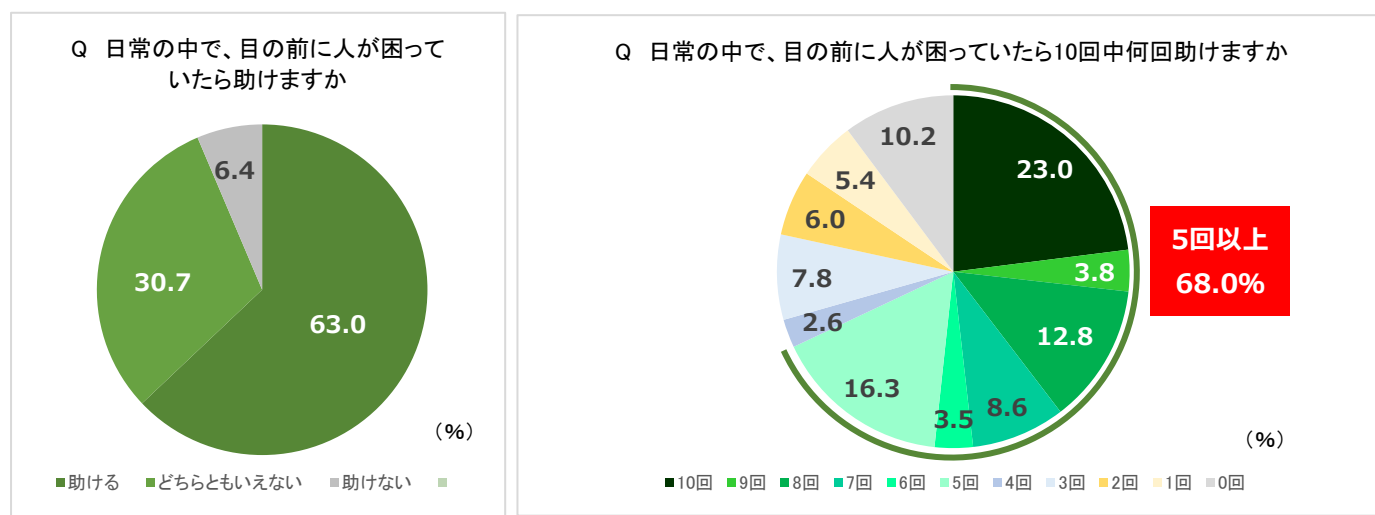
上記質問で 1 ヶ月以内に見知らぬ人で困っている人を助けたことがないと回答した人にその理由を聞いたところ、「そのような場面に出会わなかった」87.2%、「そのような場面に出会ったが、助けなかった」12.8%でした。



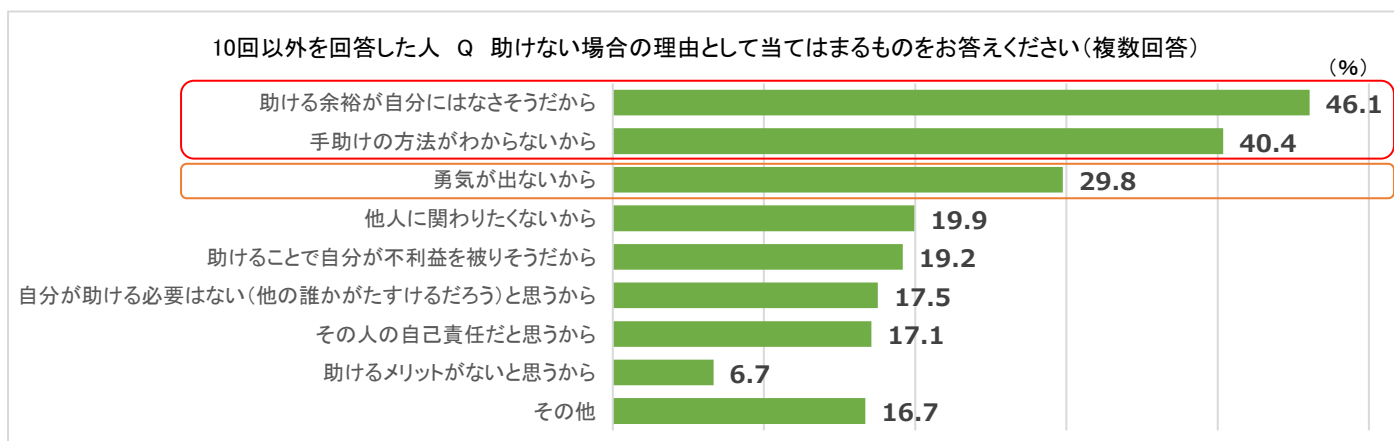
- 日常の中で目の前に困っている人がいたら、63.0%の人が「助ける」と回答。
- 助ける頻度は、10 回中 10 回が 23.0%で最も多く、68.0%の人が 5 回以上を選択。
- 助けない理由は「余裕がない」(46.1%)「方法がわからない」(40.4%)。「勇気が出ない」「他人に関わりたくない」なども。

日常の中で目の前に困っている人がいたら助けますか、と聞いたところ、63.0%の人が「助ける」と回答。しかし、30.7%の人が「どちらともいえない」と回答しており、約 3 人に 1 人は迷いがみられます。性年代別で見ると、「助ける」は 50 代以上の女性が 7 割以上と高い傾向がみられました。また「どちらともいえない」は若い世代ほど高く、20 代、30 代男性はいずれも 4 割近い回答率となっています。

助ける頻度を 10 回中何回か聞いたところ、「10 回」が最も多く 23.0%。次いで「5 回」(16.3%)「8 回」(12.8%)。5 回以上と回答した人の合計は 68.0%で、約 7 割の人が 2 回に 1 回以上は助けると回答しています。



日常の中で、目の前で人が困っていても、助けない場合がある方にその理由としてあてはまるものを聞いたところ、「助ける余裕が自分にはなさそうだから」が最も多く 46.1%、次いで「手助けの方法がわからないから」40.4%でした。また、「勇気が出ないから」29.8%などもあがっています。



- 社会がたすけあいにあふれていると思う人は 40.1%。
- 「たすけあいがあふれる社会」に共感できる人は 64.3%。
- これからの社会においてたすけあいが必要だと思う人は 85.8%。

「社会がたすけあいにあふれていると思うか」聞いたところ、「そう思う」6.5%、「ややそう思う」まで含めると 40.1%。性年代別での大きな差異はみられませんでした。

「たすけあいがあふれる社会」に共感できるか聞いたところ、「共感できる」19.9%。「やや共感できる」まで含めると 64.3%。年代が高くなるほど共感できる人がやや多くなる傾向が伺えます。

これからの社会においてたすけあいが必要だと思うか聞いたところ、「そう思う」43.2%。「ややそう思う」まで含めると 85.8%。男性より女性、若い人よりシニア層の方がより必要性を感じているようですが、最も低い20代、30代男性でも「ややそう思う」まで含め7割以上と、高い数値となっています。

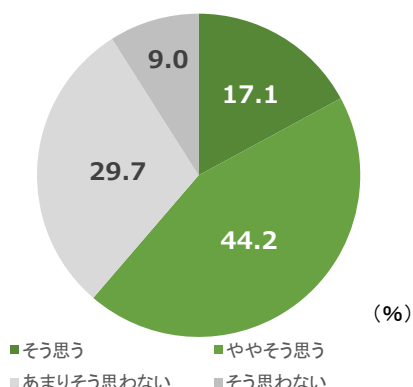
3つの質問の回答を総合的にみると、多くの人がたすけあう社会を望み、必要だと感じているようです。特に、たすけあう社会の必要性は、性年代による差異はあるものの、どの年齢でも強く感じているようですが、実感できる人は4割程度であることが伺えます。

- 日々色々な人に助けられていると思う人は61.3%。
- どうすれば、たすけあいが社会にあふれると思うか、に対しては「(心・経済的) 余裕・ゆとり」「思いやり・優しさ・関心(を持つ)」「(子供のころからの) 教育」「自分ゴト」「声かけ」「環境づくり」などの意見が寄せられた。

日々色々な人に助けられているか、と聞いたところ、「そう思う」17.1%。「ややそう思う」まで含めると 61.3%で、過半数の人は助けられていると実感しているようです。また、どの年代でも男性より女性の方が5～10ポイント程度高い傾向がみられます。

また、どうすればたすけあいが社会にあふれると思うか、と聞いたところ、多くの人が心だけでなく経済や時間などの「余裕・ゆとり(を持つ／があれば)」をあげています。また、子供の頃から自然に身につけるための「教育」、「環境づくり」といった制度的な意見もみられます。心理面では「思いやり」、「優しさ」、「(他人や困っている人に対する) 関心」「勇気」などのほか、「自分ゴト」をあげる人も多く、具体的なアクションとしては「声かけ」が多くみられました。

Q あなたは、日々色々な人に助けられていると思いますか？



Q どうすれば、たすけあいが社会にあふれると思いますか。
あなたのご意見をご記入ください(自由回答)

※頻出キーワード集計

「余裕・ゆとり」	300 人
⇒心、金銭・経済、時間など	
「思いやり・思いやる(気持ち)」	149 人
「(子供への)教育」	135 人
「優しさ」	71 人
「声かけ」	66 人
「豊かさ」	44 人
「勇気」	31 人
「関心を持つ」	30 人
「環境づくり」	23 人

【こんな意見も…】
「音楽や携帯などで視野が狭くなっている、そういった場面にも気づかない時があるので、携帯の使用頻度を減らす」
20代女性

■調査概要

1. 調査内容

たすけあいに関する意識調査

2. 調査方法

(1) 調査対象：日本国内に在住する 15～79 歳の男女

①性別（単位：人）

男性	女性
1,486	1,514

②年齢（単位：人）

男性10代	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	男性70代
90	189	217	279	251	232	228
女性10代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	女性70代
83	182	210	275	254	244	266

③居住地域（単位：人）

北海道/東北	関東	中部	関西	中四国	九州/沖縄
329	1,054	544	488	256	329

(2) 実施期間：2022 年 10 月 5 日（水）～2022 年 10 月 7 日（金）

(3) 調査手法：インターネット調査

(4) 有効回答数：3,000

3. 結果

※上段（人）／下段（％）

以下について、困っている人に対するあなたのお気持ちや意識として、あてはまるものをそれぞれお答えください。 (お答えはそれぞれ1つ)					
	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
人が困っていたら助ける	3,000	899	1,558	393	150
	100.0	30.0	51.9	13.1	5.0
人が困っていたら声をかける	3,000	749	1,514	541	196
	100.0	25.0	50.5	18.0	6.5
困っている人がいたら、よく気が付く	3,000	487	1,327	963	223
	100.0	16.2	44.2	32.1	7.4

あなたは自分が困っているときに、人に助けを求めますか。(お答えは1つ)				
全体	よく求める	やや求める	あまり求めない	まったく求めない
3,000	187	883	1,597	333
100.0	6.2	29.4	53.2	11.1

以下について、あなたのお気持ちや意識としてあてはまるものをそれぞれお答えください。(お答えはそれぞれ1つ)					
	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
自分は人を助けることが多い	3,000	348	1,200	1,130	322
	100.0	11.6	40.0	37.7	10.7
自分は人に助けられることが多い	3,000	240	810	1,459	491
	100.0	8.0	27.0	48.6	16.4

最近1ヵ月以内にあなたが行ったことがある行動として、あてはまるものをそれぞれお答えください。(お答えはそれぞれ1つ)			
	全体	1ヵ月以内にしたことがある	1ヵ月以内にしたことがない
見知らぬ人で困っている人を助ける(ボランティアを除く)	3,000	543	2,457
	100.0	18.1	81.9
寄付	3,000	410	2,590
	100.0	13.7	86.3
ボランティア	3,000	307	2,693
	100.0	10.2	89.8

1ヵ月以内に見知らぬ人で困っている人を助けたことがない方にお聞きします。 あなたが、手助けをしなかった理由について当てはまるものをそれぞれお答えください。(お答えは1つ)		
全体	そのような場面に会わなかった	そのような場面に会ったが、助けなかった
2,457	2,143	314
100.0	87.2	12.8

日常の中で、目の前に人が困っていたら、助けますか。(お答えは1つ)			
全体	助ける	助けない	どちらともいえない
3,000	1,889	191	920
100.0	63.0	6.4	30.7

日常の中で、目の前で人が困っていたら、あなたは10回中何回助けますか。(お答えは1つ)											
全体	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
3,000	307	162	180	233	77	490	106	258	383	115	689
100.0	10.2	5.4	6.0	7.8	2.6	16.3	3.5	8.6	12.8	3.8	23.0

<p>日常の中で、目の前で人が困っていても、助けない場合がある方にお聞きします。 助けない場合の理由としてあてはまるものをお答えください。(お答えはいくつでも) その中で、最も大きな理由を1つお答えください。(お答えは1つ)</p>										
	全体	その人の自己責任だと思うから	助ける余裕が自分にはなさそうだから	助けるメリットがないと思うから	助けることで自分が不利益を被りそうだから	他人に関わりたくないから	手助けの方法がわからないから	勇気が出ないから	自分が助ける必要はない(他の誰かがたすけるだろう)と思うから	その他
助けない場合の理由	2,311 100.0	395 17.1	1,065 46.1	154 6.7	443 19.2	461 19.9	933 40.4	688 29.8	405 17.5	386 16.7
助けない場合の最も大きな理由	2,311 100.0	167 7.2	547 23.7	36 1.6	170 7.4	192 8.3	412 17.8	302 13.1	144 6.2	341 14.8

あなたは、社会がたすけあいにあふれていると思いますか。(お答えは1つ)				
全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
3,000	194	1,008	1,358	440
100.0	6.5	33.6	45.3	14.7

あなたは、日々色々な人に助けられていると思いますか。(お答えは1つ)				
全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
3,000	514	1,326	891	269
100.0	17.1	44.2	29.7	9.0

「たすけあいがあふれる社会」という文言に対して、あなたはどの程度共感しますか。(お答えは1つ)				
全体	共感できる	やや共感できる	あまり共感できない	共感できない
3,000	598	1,330	804	268
100.0	19.9	44.3	26.8	8.9

あなたは、これからの社会においてたすけあいは必要だと思いますか。(お答えは1つ)				
全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
3,000	1,296	1,278	282	144
100.0	43.2	42.6	9.4	4.8

■こくみん共済 coop が取り組む「たすけあいを楽しむ文化」づくり

こくみん共済 coop では、「たすけあい」をもっと気軽に楽しいものにできたなら、よりあたたかい社会になるのではないかと。という思いから「ENJOY たすけあい」立ち上げ、「たすけあいを楽しむためのヒント」とお届けしています。



相手がたすかる。自分がうれしい。そんな「たすけあいを楽しむ文化」を。

<https://www.zenrosai.coop/e-tasukeai/>

■Enjoy たすけあいとは

相手がたすかる。自分がうれしい。 そんな「たすけあいを楽しむ文化」を。

「たすけあい」はちょっと難しい。

照れくさかったり、恥ずかしかったり。

「相手は求めているのかも・・・」とか

いろいろ考えてしまうものですね。

「たすけあい」をもっと気軽に楽しいものにできたなら、

よりあたたかい社会になるのではないかと。

そんな思いで立ち上げたのが「ENJOY たすけあい」です。

「たすけあいを楽しむためのヒント」を届けていきます。

お節介すぎる表現があったらゴメンナサイ。

たすけあいの輪をむすぶ、こくみん共済 coop から。

■たすけあいを ENJOY するための7つのヒント

1

気軽に楽しもう

「たすけあい」は、義務ではない。
誰かに言われてやるものでもない。
でもやってみたら意外にENJOYできるんだよね。

2

ちょっとの勇気がスタートライン

街中で困っている人を見かけても、実際に「たすける」ことはちょっと勇気がいるよね。
でもそれが、たすけあいをENJOYするための第一歩。

3

アンテナを立てよう

駅、電車など人が集まる所には、
「たすけあい」のきっかけがたくさんあるよ。
いつもアンテナを立てておくと思えるかも。

4

たすけた方がうれしい

笑顔には「マイ・プレジャー」という言葉があるんだ。
感謝されたときに使う言葉で、感謝すると「私の喜び」。
そう、「たすけあい」は、たすけた方がうれしい。

5

「たすけてください」はプレゼント

自分が困った時は、迷惑かもしれないけど、思い切って誰かに「たすけてください」と言ってあげたら？
相手へENJOYをプレゼントすることになるかもよ。

6

覚えておいた方が、いい知識もある

知ることを通して、たすけが必要な人がわかったり、たすけ方がわかったりすることもあるよ。
知識に「たすけあい」の質を押しつけてもらおう。

7

うまくいなくても、自分を褒めよう

勇気をだして声をかけたのに、謝られた。
そんなときもあるよね。でも、へこまない。
一歩踏み出した自分を褒めてあげよう。

■ENJOY たすけあい JOURNAL

いろんな角度から「たすけあい」についての記事を発信していく Web メディアです。
みなさんが気軽に、楽しみながら「たすけあい」を考えるきっかけに。

いろんな角度から「たすけあい」についての記事を発信していくWebメディアです。
みなさんが気軽に、楽しみながら「たすけあい」を考えるきっかけに。

コラム

暮らすようにたすけあう、団地に住む人々

自分の勇気って、どのくらいあるんだろう

内緒の「おもしろゲーム」

この差し出した手を、握ってくれるようになったのはいつ頃かなあ……

弟はたすけるよりも先に、人をたすけていたはずだ

ふれあって、知って、憶えた。視覚障がい者の仲間のこと。

お笑い、半信10メートルの世界を数回～日常をちょっとだけ面白くするためのコツ～

席を譲ろうとして断られたときの処方箋

思返しのかわりに思送り

ドラえもんがのび太をたすけ続けるフケと、未来をよりよく変える方法

赤ちゃんと伝えたい。「思いっきり泣いてもいいよ、大丈夫。」

「たすけてください」に隠された、心温まる言葉の贈り物

<こくみん共済 coop>

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万が一に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>

たすけあいの輪をむすぶ

<リリースに関する問い合わせ先>こくみん共済 coop ブランド戦略部

〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話:03-3299-4232 / Email:koho@zenrosai.coop

<ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先>
株式会社ユース・プランニング センター 担当:藤井、河名、川上
Tel:03-6821-8699 / Fax:03-6821-8869
藤井:090-7900-7866 / s-fujii@ypcpr.com
河名:090-7900-2756 / k-kawana@ypcpr.com